



ご近所がイチバンですよ～！…の巻(図書館のイベント紹介)
 たんと！このコーナーが3年目をむかえました。ということで、オススメスポットの紹介などいっそうパワーアップした内容でお届けしています。今回は「市立図書館」。近場ならではの楽しみ方がありました！

読者のこえ 「パンジー」 今までに我が家で一番美しく咲いた花。今でも私の心に焼きついていきます。(港区 50代)

大阪市内にある24の図書館では、子どもといっしょに楽しめるさまざまなイベントが開催されています。定期的なものから、年に一回だけといった限定のものまで多種多彩。今回はそのいくつかをたずねてみました。

まずは『**阿倍野図書館**』。

ここでは「折り紙教室」に参加してきました。子どもから年配の方まで幅広い年代の参加者がいました。講師は田坂節子さん。(この方『こどもの経済学』という著作もある経済学の学者さんです)テーブルを回って作り方の説明をしていきます。一枚の色紙を台形のような形に折り、それを組み合わせて、三角すいや立方体を作っていきます。私も挑戦してみました。最初の形すら簡単にはいきません。でも、周りではみんなスイスイと作業がはかどっている様子。



(梅木)「どうしてそんなに上手にできるの？」
 (6歳くらいの女の子)「いつもおうちで折り紙してるから」
 (そのお母さん)「雨の日といえば折り紙なんです。そのために色紙の買い置きもたくさんあります」

ほかにも「子どもと一緒に、ワイワイ言いながら折り紙すると楽しいですよ」との声もありました。

つぎは『**大正図書館**』。

ボランティアグループ「アナンシ」さんのおはなし会。「おはなしのへや」は満員。子どもが座るのにちょうどいいサイズの赤い椅子が楽しい雰囲気盛り上げます。楽譜付きの絵本『はじめまして』は歌で読み聞かせ。詩の絵本『のはらうた』には

手づくりのみみずやもぐらの人形が登場します。最後は部屋を暗くして“おはなしのろうそく”に火をともし、おはなし(ストーリーテリング)が始まります。怖がる子がいるかな?と思ったのですが、引き込まれていくように身を乗り出して聴いています。

(梅木)「きょうは楽しかった？」
 (子ども)「いつもきてるよ。もぐらさんやみみずさんがでてきておもしろかった」



これが手づくりみみずさんです。(by「アナンシ」さん)

「妻が買い物しているので、(お隣りはスーパーです)きてみたら、誘われたので入ってみました。初めて知りました」というお父さんの姿も。

最後は『**都島図書館**』の「ボンボン劇場」。

“大型立体紙芝居”という案内に「百聞は一見にしかず」とでかけてみました。紙芝居作成、台本、演出すべてをひとりで行なっているのは80歳の内藤磯美さん。



紙芝居とペープサートが一体になったようなものですが、よく知っているはずの『桃太郎』がとびきりおもしろく感じられるのは、内藤さんの人柄がでてきているからでしょうか。ここはベビーを連れたママの参加者が多かったようです。

近くにある図書館へお散歩気分ですべてかけてみませんか? お友達やサークルなどとの出会いが待っているかもしれませんよ。

(文・写真:梅木智子)

※図書館のイベントは毎月P20、21に掲載しています